

# 高齢者のインフルエンザ予防接種説明書（熱海市）

熱海市に住民登録のある65歳以上の方が対象です。

## 1. インフルエンザワクチン接種の有効性

インフルエンザ予防接種の有効性は世界的にも認められています。我が国においても高齢者の発病防止や特に重症化防止に有効であることが確認されています。

65歳以上の高齢者に対して行った調査では、予防接種を受けずにインフルエンザにかかった人の34%～55%は、予防接種を受けていればかからずに済んだこと、また予防接種を受けずにインフルエンザにかかって死亡した人の82%は、予防接種を受けていれば死亡せずに済んだことが報告されています。

なお、予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。

より効率的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月中旬までに接種を受けておくことが必要です。

## 2. インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種の注射の跡が、赤みを帯びたり、はれたり、痛んだりすることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、僅かながら熱が出たり、悪寒がしたり、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、意識障害の症状が現れる等の報告があります。非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などがあらわれることがあります。

## 3. 予防接種を受ける前に

### (1) 一般的な注意

予防接種の効果や副反応について十分に納得して接種を受けてください。

予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。

基本的には、接種を受けるご本人が責任をもって記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。接種を受けるご本人が、麻痺などがあって同意書に署名ができない場合には、家族等がご本人の接種意思の有無を確認し、代筆することで接種を行います。